



平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション

コード番号 2798 URL <http://www.vstable.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長

(氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員

(氏名) 平尾 健治

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成28年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の連結業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	7,708	4.3	266	157.7	272	98.0	162	—
28年2月期第2四半期	7,390	5.2	103	64.7	137	74.4	12	—

(注) 包括利益 29年2月期第2四半期 198百万円 (—%) 28年2月期第2四半期 2百万円 (△24.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	61.11	—
28年2月期第2四半期	4.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第2四半期	6,192	1,420	22.7	529.00
28年2月期	5,129	1,213	23.6	454.50

(参考) 自己資本 29年2月期第2四半期 1,407百万円 28年2月期 1,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の連結業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,606	4.0	553	183.5	582	145.7	327	186.8	123.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期2Q	2,660,900 株	28年2月期	2,660,900 株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	145 株	28年2月期	112 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期2Q	2,660,776 株	28年2月期2Q	2,660,838 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善ペースの鈍化の影響もあり停滞感に包まれました。国内の個人消費については、熊本地震の影響等もあり、依然として低迷が続いております。また、消費税増税の再延期、英国のEU離脱問題等により、今後の景気動向については不透明な状況です。

外食産業においては、食材価格の高騰、人材確保の競争激化、また、食の安全・安心に対する社会的関心の高まりに加え、消費者の節約志向の影響から、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、既存店のブラッシュアップに加えて、新規出店を推進してまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続きカジュアルレストラングループが安定的な収益をあげたことに加え、XEXグループが回復基調であったことから、売上高は7,708百万円(前年同期比4.3%増加)、営業利益は266百万円(同157.7%増加)、経常利益は272百万円(同98.0%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は162百万円(同1234.8%増加)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、平成27年11月に直営店「The Kitchen Salvatore Cuomo SHANGHAI」を閉店したことにより同店舗の売上が剥落した一方で、前連結会計年度より取り組んでまいりました既存店舗のブラッシュアップ・営業強化の効果もあり、前年同期比で増収となりました。また、直営店「Curtain Call」を平成28年5月に閉店いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,330百万円(前年同期比2.9%減少)、営業利益は193百万円(同174.0%増加)となりました。なお、店舗数は直営店9店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、既存店の強化に加えて、直営店およびFC店による新規店舗の出店を推進してまいりました。直営店では、平成28年6月に「SKY PARADISE BEER GARDEN」を伊勢丹新宿本店館屋上に期間限定で営業し、同年7月に「SALVATORE CUOMO & BAR 仙台」を出店いたしました。FC店では、平成28年3月に「SALVATORE CUOMO & BAR 松山」および「SALVATORE CUOMO & BAR 小倉」、同年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR 姫路」、同年6月に「SALVATORE CUOMO & BAR MANILA」、同年7月に「SALVATORE CUOMO & BAR 浜松」を出店いたしました。また平成28年3月には、FC店「PIZZA SALVATORE CUOMO 三軒茶屋」を直営店舗化いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は5,374百万円(前年同期比7.8%増加)、営業利益は617百万円(同6.1%増加)となりました。なお、店舗数は直営店45店舗、FC店48店舗となりました。

③その他

その他は、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等により構成されております。当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は3百万円(前年同期比8.8%減少)、営業利益は1百万円(前年同期は営業損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は3,056百万円となり、前連結会計年度末に比べ973百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加970百万円等によるものです。固定資産は3,135百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円増加いたしました。これは主として、建物及び構築物の増加39百万円、工具器具備品の増加20百万円、リース資産の増加14百万円、建設仮勘定の減少12百万円、のれんの減少21百万円、敷金及び保証金の増加11百万円、長期繰延税金資産の増加31百万円等によるものです。

この結果、総資産は6,192百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,062百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,788百万円となり、前連結会計年度末に比べ339百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加127百万円、短期借入金の減少12百万円、未払金の増加81百万円、未払法人税等の増加132百万円等によるものです。固定負債は1,983百万円となり、前連結会計年度末に比べ515百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の増加529百万円、資産除去債務の減少21百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,771百万円となり、前連結会計年度末に比べ855百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,420百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円増加いたしました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上162百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は22.7%(前連結会計年度末は23.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年4月14日付「平成28年2月期 決算短信」にて公表のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	736,474	1,706,605
売掛金	779,064	778,299
原材料及び貯蔵品	234,665	231,269
繰延税金資産	133,623	139,954
その他	199,626	200,852
貸倒引当金	△506	△517
流動資産合計	2,082,948	3,056,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,847,366	1,886,716
工具、器具及び備品（純額）	232,636	253,233
リース資産（純額）	55,519	70,036
建設仮勘定	15,287	2,877
その他（純額）	1,737	9,961
有形固定資産合計	2,152,546	2,222,825
無形固定資産		
のれん	182,016	160,602
その他	47,093	45,276
無形固定資産合計	229,110	205,879
投資その他の資産		
投資有価証券	273	288
長期貸付金	8,232	8,012
敷金及び保証金	607,249	618,475
繰延税金資産	51,333	82,816
その他	14,719	14,020
貸倒引当金	△16,795	△16,574
投資その他の資産合計	665,012	707,037
固定資産合計	3,046,669	3,135,743
資産合計	5,129,617	6,192,207
負債の部		
流動負債		
買掛金	722,215	849,821
短期借入金	682,506	669,542
未払金	656,503	738,318
未払法人税等	38,766	171,315
ポイント引当金	23,906	27,025
株主優待引当金	55,728	55,886
その他	269,125	276,392
流動負債合計	2,448,751	2,788,301
固定負債		
長期借入金	798,332	1,327,832
資産除去債務	480,191	459,135
その他	189,262	196,642
固定負債合計	1,467,786	1,983,610
負債合計	3,916,538	4,771,911

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	△359,858	△197,263
自己株式	△275	△362
株主資本合計	1,368,924	1,531,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	5
為替換算調整勘定	△159,583	△123,892
その他の包括利益累計額合計	△159,587	△123,887
新株予約権	3,742	12,750
純資産合計	1,213,079	1,420,295
負債純資産合計	5,129,617	6,192,207

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	7,390,779	7,708,571
売上原価	6,162,360	6,264,804
売上総利益	1,228,419	1,443,767
販売費及び一般管理費	1,125,066	1,177,475
営業利益	103,352	266,291
営業外収益		
受取利息	221	99
協賛金収入	28,734	38,439
為替差益	10,754	—
その他	11,653	16,254
営業外収益合計	51,364	54,793
営業外費用		
支払利息	16,436	13,213
為替差損	—	31,653
その他	816	4,101
営業外費用合計	17,252	48,969
経常利益	137,463	272,116
特別利益		
固定資産売却益	104	—
特別利益合計	104	—
特別損失		
固定資産除却損	746	—
減損損失	33,583	—
店舗閉鎖損失	18,499	—
特別損失合計	52,828	—
税金等調整前四半期純利益	84,740	272,116
法人税、住民税及び事業税	28,616	147,879
法人税等調整額	46,455	△38,358
法人税等合計	75,071	109,521
四半期純利益	9,669	162,595
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,512	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,181	162,595

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
四半期純利益	9,669	162,595
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	9
為替換算調整勘定	△6,880	35,690
その他の包括利益合計	△6,828	35,700
四半期包括利益	2,840	198,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,839	198,295
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,999	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	84,740	272,116
減価償却費	168,564	161,736
減損損失	33,583	—
のれん償却額	21,413	21,413
株式報酬費用	—	9,007
貸倒引当金の増減額(△は減少)	104	△209
株主優待引当金の増減額(△は減少)	2,154	158
ポイント引当金の増減額(△は減少)	7,603	3,119
受取利息及び受取配当金	△226	△106
支払利息	16,436	13,213
為替差損益(△は益)	△13,332	27,997
固定資産売却損益(△は益)	△104	—
固定資産除却損	746	—
店舗閉鎖損失	18,499	—
売上債権の増減額(△は増加)	△33,497	△129
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,302	3,296
前払費用の増減額(△は増加)	△20,056	△3,377
仕入債務の増減額(△は減少)	203,946	128,768
未払金の増減額(△は減少)	38,165	49,292
未払消費税等の増減額(△は減少)	△73,695	△8,418
前受収益の増減額(△は減少)	△5,355	△5,984
その他	86,057	13,804
小計	546,049	685,698
利息及び配当金の受取額	227	106
利息の支払額	△18,360	△12,919
法人税等の支払額	△27,934	△28,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	499,981	644,720
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△181,927	△171,848
有形固定資産の売却による収入	113	—
無形固定資産の取得による支出	△2,279	△980
貸付けによる支出	—	△334
貸付金の回収による収入	199	209
資産除去債務の履行による支出	△6,863	△3,046
敷金及び保証金の差入による支出	△8,973	△12,767
敷金及び保証金の回収による収入	10,260	1,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,471	△187,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	49,513	△100,000
長期借入れによる収入	723,000	930,000
長期借入金の返済による支出	△501,538	△306,248
自己株式の取得による支出	△102	△86
リース債務の返済による支出	△13,743	△11,331
財務活動によるキャッシュ・フロー	257,129	512,334
現金及び現金同等物に係る換算差額	745	587
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	568,386	970,131
現金及び現金同等物の期首残高	875,906	736,474
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,444,292	1,706,605

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,399,947	4,987,113	7,387,060	3,719	7,390,779	—	7,390,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	123,385	123,385	△123,385	—
計	2,399,947	4,987,113	7,387,060	127,105	7,514,165	△123,385	7,390,779
セグメント利益 又は損失(△)	70,502	581,687	652,190	△555	651,634	△548,281	103,352

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△548,281千円には、セグメント間取引消去額1,055千円、各セグメントに配分していない全社費用△549,337千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第2四半期連結累計期間に、「XEXグループ」セグメントにおいて33,583千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,330,276	5,374,902	7,705,178	3,393	7,708,571	—	7,708,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	176,052	176,052	△176,052	—
計	2,330,276	5,374,902	7,705,178	179,445	7,884,623	△176,052	7,708,571
セグメント利益	193,159	617,382	810,542	1,302	811,844	△545,553	266,291

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、食料品等の卸売、小売事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

- 2 セグメント利益の調整額△545,553千円には、セグメント間取引消去額833千円、各セグメントに配分していない全社費用△546,386千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
 - 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。